

平成 19 年 11 月 12 日

関東大学対抗戦
関東大学リーグ戦
地区対抗大学

加盟チーム部長 各位

写) 関東ラグビーフットボール協会

レフリー委員長 森田 邦昭 殿

写) 関東大学ラグビーフットボール連盟

理事長 二ツ森 修 殿

関東ラグビーフットボール協会

理事長 水谷 眞

大学委員長 武村 秀夫

規律委員長 陶久 昌明

競技に関する規律の件 (通達)

標記につきましては、予てよりプレーヤーのみならず監督およびコーチ等のスタッフに対しても、言うまでもなく常に良識的かつ紳士的な振舞いが求められているところです。

しかしながら昨今の試合における実態に鑑みると、特にゲーム中のレフリーやタッチジャッジの判定に対し眼に余る批判・抗議が公然となされるといった、ラグビーフットボールの競技精神に著しく悖る行為・言動が散見され、これは看過し得ない事態と受け止めざるを得ません。

弊協会の大学委員会および規律委員会といたしましては、かかる実態を重く見た結果、加盟各チームに対し下記のとおり通達いたしますので、チーム内においてあらためて趣旨徹底を図られるようお願いいたします。

またレフリー委員会に対しても本趣旨を伝え、従前以上にゲーム中において毅然とした処置をとるよう要請を行っておりますので、併せてご丁知お祈いたします。

記

<通達内容>

1. ゲーム中、ゲーム前後を問わず、マッチオフィシャルに対する暴言、威嚇、不服従、その他一切の非紳士的行為を厳に禁ずる。試合中は静かにプレーないし観戦すること。
2. マッチオフィシャルへの、ラグビー精神を逸脱する行為については、トップリーグ表彰懲罰規則の定め（別表参照）に準じ、厳格な処分を課すこととする。
3. これはゲーム中の出場選手の行為に留まらず、リザーブ選手、監督ならびにコーチ等のスタッフについても、同様の取扱いとする。

以上

【参考】 トップリーグ規約『表彰懲罰規則』付属資料2

「反則に対してIRBが推奨する制裁」

マッチオフィシシャルへの行為に対する制裁基準

反 則	罰則の基準
レフリーまたはタッチジャッジに対する暴言	レッドカード (退場)
レフリーまたはタッチジャッジに対する威圧、恐喝	レッドカード (退場) 20～180日間
レフリーの要求に対する拒否	レッドカード (退場) 20～180日間
レフリー・タッチジャッジをこづく、蹴る	レッドカード (退場) 登録抹消
レフリー・タッチジャッジにつばを吐く	レッドカード (退場) 190日間～1年間
チームオフィシシャル、コーチによる不行跡	レッドカード (退場)
レフリーの判断に対する不服	レッドカード (退場) 10日間
ベンチからの悪態	レッドカード (退場) 10日間
サポーターもしくは観客による音もしくは視覚による妨害	競技場より退出
フィールド内への物の投げ入れ	競技場より退出

トップリーグ規約：<http://www.top-league.jp/about/kiyaku/2007/b/01.html>